

【議事要旨】

第2回 野鳥公園整備に関する検討委員会

- 1 日 時 平成26年1月16日（木） 14：30～16：00
- 2 場 所 福岡ビジネス創造センター1階 ホール
- 3 出席者 [委員]
春日井委員長，大谷委員，小島委員，酒井委員，坂井委員，
田村委員，中村委員
- 4 議事次第
 - (1) 開 会
環境対策部長挨拶
 - (2) 議 題
野鳥公園ラウンジカフェの報告
野鳥公園整備にあたっての基本的な考え方等について
 - (3) その他

【配付資料】

- 別紙1 野鳥公園ラウンジカフェの報告
- 別紙2 野鳥公園整備にあたっての基本的な考え方等について
- 別紙3 第1回検討委員会における委員意見
- 参考資料 野鳥公園ストーリーボード

第2回 野鳥公園整備検討委員会 議事要旨

	<p>開 会</p> <p>環境対策部長挨拶</p> <p>1 議 題</p> <p>(1) 野鳥公園ラウンジカフェの報告</p>
事務局	(別紙1 事務局より説明)
委員長	野鳥公園ラウンジカフェの報告について、意見・質問等はないか。
委員	ラウンジカフェに参加した方は、アイランドシティに住んでいる方が多かったのか。また、何か特徴がみられるか。
事務局	8回開催して、1回あたり30～40名、のべ300名程度の方に参加して頂いている。構成としては、アイランドシティにお住まいの方で継続して参加された方が5～6名であり、それ以外にお住まいの方が多かった。
委員長	別紙1の5ページ 野鳥公園のあるべき姿 観察学習で、エコプロジェクトに参加、エコクラブとの連携など様々な動きが示してあるが、このような活動はどこ学校などでもあるのか。それとも、観察学習を中心に据えるために、そういう活動を増やしていきたいということか。
事務局	エコクラブという形での活動があるとの事例は聞いていないが、環境学習としては様々な取り組みがあるので、エコクラブとして活動できるように野鳥公園があればいいと考えている。
委員長	自分も参加したことがあるアマモ観察会やアマモシート作成などは、対岸の奈多小学校と連携して実施している。そのように近隣の学校などと協力し、広げていけたらよいと思う。
事務局	地域毎に活動が異なっており、今津ではカブトガニの放流をしている。その地域に応じた資源をどう活用していくかが重要と考えている。
委員長	確かに、東区周辺の小学校以外だと、アイランドシティに身近な印象がなく、テレビでしか見ない状況だろう。

事務局	<p>ある程度環境学習の仕組みができ、全小学校が興味を持って、集えるような場所になればいいと思っている。</p>
委員長	<p>公園づくり、観察学習、地域交流、国際交流、企業連携という大きな柱で、パークマネジメントをしていくことは良いことだと思うが、理想と現実の間をどのように埋めるのかをぜひ検討してほしい。</p>
委員	<p>ワークショップの成果をうまくまとめていると思う。</p> <p>1回に30名ほどの参加があり、アイランドシティに住んでいない方も多ということだが、150万都市のほんの一握りの人数である。もっと多くの市民に知って頂くことが必要と考えるが、何か活動はしているか。</p>
事務局	<p>ラウンジカフェに興味を持ってもらうために呼びかけてはいるが、休みの日に参加される方は、野鳥公園に対して強い思いをもたれている方であり、リピーターが多い。田村委員にも全回参加して頂いた。今後、運営等を考えていく上で、核となる人達に集まって頂いたと思っている。ラウンジカフェに対しては、今後も続けたいとのご意見が多く、大きな成果であると考えている。</p> <p>周知については、市役所1階ロビーでラウンジカフェの成果を展示したり、ホームページに開催の様子をお知らせしたりしてきた。急激に広がっていくよりも、魅力ある活動を通して、人と人のつながりの中で注目されていくという形になればいいと考えている。</p>
委員	<p>ラウンジカフェは、一旦終了するとのことだが、野鳥公園の整備は長期にわたるため、継続的に市民に情報を発信することが重要だと思う。</p>
事務局	<p>今後も関わっていきたいという市民の思いを継続できるように検討していきたい。</p>
委員長	<p>まずは、地元の照葉小学校などと共にまちづくりをやっていき、その中でエコパークゾーンのあり方、さらには野鳥公園のあり方を一緒に考えていける仕組みを作ったらどうか。</p>
事務局	<p>照葉公民館で行われている野鳥観察会などを通して、小学校と連携していきたいと考えている。</p>

委員	<p>まちづくりの中での公園のあり方についてであるが、パークマネジメントをいかに成長させていくかについては、これから公園ができるまで、もしくは公園ができてからもやっていくことである。ラウンジカフェで出た市民の方の思いをどう計画に反映させるのが課題であり、委員会の役割であろう。</p> <p>どのように整備していくかについて、まずは資金をどう集めるのか。大部分は市で賄うかと思うが、場面によっては、企業から協賛金をいただくこともあるかと思う。協議会等を作るとやりやすくなるのではないか。</p> <p>次に、知恵を集める仕組みである。ラウンジカフェでも集まると思うが、引き続きこれを成長させていくような知恵の集め方が必要である。</p> <p>もう一つは、市民の方の関心を集めることである。市民の方に支えていただくためにも関心をどう集めるかが重要である。</p> <p>この資金、知恵、関心をどう集めるかについて今後検討する必要があるだろう。</p> <p>UDCIC（アーバンデザインセンター）では、初年度は、アイランドシティのまちづくりをどう盛り上げていくかについてイベント等を中心に取り組んでいるが、アイランドシティ全体のアーバンデザインの一部として、野鳥公園を位置づける見方ができるのではないかと考えている。</p>
委員長	<p>アイランドシティのまちづくりと密接に絡み、かつ前面のエコパークゾーンをどうまちづくりに関わらせるのか、また、将来は国際交流も含めてアイランドシティの価値をどう高めるか、企業の資金をどう集めるか、NPO、ボランティアなど、どの主体がやるのか等をしっかり整理をして進めて頂きたい。</p>
事務局	<p>他の公園の管理等においても、市民と共働でコミュニティを活性化する事業が増えている。それらの事例を踏まえながら、みんなで作っていく公園になればと思っている。先駆的な事例であるため、リスクもあるだろうが、それに挑戦することが大きな魅力になると思うので、皆さんに知恵を頂きながら進めて行きたい。</p>
委員長	<p>資金・知恵・関心がないとうまく回らないと思う。</p> <p>作った当初は良いが、徐々に草むらに変わっていく事例が往々にしてあるので、人が関わっていける形を作ることが重要である。個人的には、小学校と定期的に関わることで継続していけると思うので、いつまでに決めるということではないが、検討してほしい。</p>
委員	<p>企業連携という言葉が盛り込まれているが、広報活動の中で、具体的な企</p>

	業からの問い合わせや参加の意思表示はあるか。
事務局	企業にお話をしたことはあるが、野鳥公園が具体的にどうなるかが分からない現状では、判断できないとの回答を頂いている。今後、検討が進む中で、絵姿とともにパークマネジメントの説明ができれば、聞いていただけたらと思っている。
委員長	ほかに意見がなければ、次の議題に移らせていただく。
	議 題 (2) 野鳥公園整備にあたっての基本的な考え方等について
事務局	(別紙2, 別紙3 事務局より説明)
委員長	「野鳥公園整備にあたっての基本的な考え方等について」ということで、野鳥公園の位置づけ、整備の方向性、ゾーニング、導入する機能について説明があったが、意見・質問等はないか。
委員	ラウンジカフェの参加者に、アイランドシティ内のコンテナやガントリークレーンを扱っているような物流関係の方はいたか。飛来する野鳥の数次第では、糞の被害を受ける等の意見はなかっただろうか。
事務局	ラウンジカフェの参加者には、港湾施設の関係者はいなかった。
委員	西日本では、冬の間にはアジア大陸からミヤマガラスが渡って来ているが、千羽ガラスと言われるほど数が多く、街中や周辺の田園地帯で過ごしている。それらがいることで、糞が落ちるとの話は聞くが、街の機能が影響を受けるとの話はないので、心配は要らないと思われる。
委員	大濠公園にもかなりの数のガラスがいる。
委員	人間の数も多い。
委員長	港湾活動をしている周辺でよく鳥は飛んでいるが、荷役活動のところは、そんなにいないようだ。どちらかといえば、大濠公園のように、水面や森があるような環境の良いところに鳥が集まるので、その周辺住民は共存して

	<p>いるのが実態ではないか。</p>
事務局	<p>博多湾に飛来する渡り鳥には、広範囲に生息域を持ち、東部海域や西部地区を行き来しているものもいる。予定地でも見て頂いたように、今の季節もかなりの数の渡り鳥が飛来しているが、糞の被害については特段聞いておらず、大丈夫ではないかと考えるが、検討させて頂きたい。</p>
委員	<p>羽を広げると1m30cm程あるハチクマと呼ばれる猛禽類が、福岡市の上空を9～10月にかけて5千羽以上渡ってきているが、都市機能に影響があるわけではないので、福岡市民と野鳥は共存できると思う。</p>
委員	<p>8ページの環境学習・市民交流の拠点において、箱物を作るようなイメージの写真になっているが、ここまでのものが必要だろうか。ラウンジカフェでの意見はそうかもしれないが、ラウンジカフェの参加者だけではなく福岡市民全体の150万の人たちが見たときに、ここでどこまでやるのかを冷静に議論した方が良いと思う。</p> <p>例えば、「飲食を伴う休憩やくつろぎを提供する」機能については、どう実現していくかは今後検討することになるかと思う。大濠公園にある民間のコーヒーショップは、良い事例である。CSR活動で社会的に責任があるから整備するだけではなく、民間が儲けることができるように、規制緩和等を含めてうまくやっていければと思う。</p> <p>また、先ほどから小学生を含めた話があるので、例として東京のお台場の小学校でのノリの養殖について話したい。元々ノリの養殖をしたかったわけではなく、お台場は人工的にできた街であるため伝統行事がなかった。子ども達の育成を新しく伝統行事としてやるために考えたのがノリの養殖である。野鳥公園の整備のために小学生を使うという発想ではなく、アイランドシティという人工的にできたまちに、どうやって新しいまちとしての人のきずなを生み出すかを考えるべきであり、そのツールとして野鳥公園があるのではないかと思う。</p>
委員長	<p>資料の写真は、他都市にある大きな野鳥公園の写真である。実際には、ここまでの建物を作れるほど広くないため、規模は小さいが、こういう機能をもつ場を用意したいということなのだろう。また、飲食を提供するのであれば、商業ベースにのせなければならないので、どう魅力ある街にするかが難しいところである。うまく運営するために、まちづくりを行っていく中で、何年もかけて議論していくことだと思う。今年度については、基本的な方向</p>

<p>委員</p>	<p>性とゾーニングと機能を明確化することであるので、運営の方法については、今後議論を進めて頂きたい。</p> <p>視察において予定地から周辺を眺めたが、和白干潟や周辺の御島、目の前の広い水面など非常に価値のある景観があり、貴重な自然であると感じた。</p> <p>こういった自然の価値を活かす拠点を整備し、人々が価値のある水面から色々学んでいながら、自然と付き合っていけるような場ができればよいと思った。</p> <p>資料では、野鳥公園の前面に海の自然を学ぶゾーンが示されており、いろいろな形で環境を学べる場に育っていけばいいと思う。例えば、干潟やアマモ場造成などが候補ではないか。</p> <p>和白干潟があり、既に鳥の利用があるため、和白干潟との連携という意味では、和白干潟を餌場として利用したものが、野鳥公園では、干潟を含めて休息地になる機能の役割としての考え方もある。</p> <p>また、和白干潟は天然の成熟した干潟なので、今後エコパークゾーンの中で保全していく位置づけとし、野鳥公園の前面に仮に干潟を作るとすれば、そこでは自然がどういう風が変わっていくかを学ぶような実験的・学習的要素を前面に押し出せる場ができると素晴らしいと思う。</p> <p>既にある場所の特性と今後作る場所の利点をうまく組み合わせれば、価値のある空間ができると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>2. 整備の方向性 2-1 整備の基本的な考え方 (2)「みんなで関わる」を实践する場所について、照葉の人たちを含めて地域の人たちが、野鳥公園が成長していく中で、長く何らかの関わりができるような仕組みを作り、その中で様々な情報発信ができ、人と自然が共存できるような場になってくれればいいと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>まちづくりは、アイランドシティの住宅地の価値をいかに上げるかであり、自然と共存した素晴らしいまちだということで全国的に有名になれば住民も幸せになる。そういうまちづくりと一緒にできればと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>規模にもよると思うが、海域に覆砂や藻場など手を入れたときは、和白干潟に飛来する野鳥の種類や数の増減の変化などがあるだろうか。</p>
<p>委員</p>	<p>以前は東部海域でもアオサが増えていたが、今年は非常に少なかった。そのため、そこに数多く来ていたヒドリガモが少ない。ヒドリガモは潜れない</p>

	<p>ので、首を水面に突っ込んで海草を食べることができる浅場を好む。中央公園にも来ており、池周辺の芝生を食べている。このように食べ物の関係で大きく変わることがある。カモ類では、東部海域に食べ物があるかないかで変わると思う。</p>
委員	<p>2. 整備の方向性 2-1 整備の基本的な考え方 (1) エコパークゾーンとの一体的な整備について、エコパークゾーンと一体的に整備する方向性でよいと思うが、機能分担をしていく中で、野鳥公園は採餌場を目指す方向ではないとのことだったが、そういう機能分担で魅力ある野鳥公園ができるのだろうか。</p> <p>和白干潟が、主たる採餌場であることは確かであり、野鳥公園を整備する時に、周辺海域等の自然環境の保全・創造していくために整理をすると思うが、機能分担で採餌場を目指さないのか。</p>
事務局	<p>シギ・チドリ類が採餌場として使っている和白干潟は、今後もしっかりと保全していく。ハマシギなどのシギ・チドリ類は、足が短く浮かべないので、潮が満ちると干潟を利用できなくなり、岩礁帯や小戸のヨットハーバー、アイランドシティの工事現場などで休んでいるが、この休息場の機能を補強するために示した考え方である。また、休息場としての石組みなどは、すき間に海生生物の生息が期待できるなど、餌場としての工夫も可能と考えている。</p> <p>多くの機能を実現させたいが、まずは休息場としての機能を優先させたいという考え方を整理したものである。</p>
委員長	<p>野鳥公園は12haと限られたスペースであり、環境学習を含めて人が入る場所を考えると、大きくは作れないので、基本的な方向性としては、休息場の整備が主であるということ。できるだけ魅力あるものにすべきであるが、今までの議論を踏まえて、事務局の方で整理したものであろう。</p>
委員	<p>野鳥公園の前面水域は、カモ類の休息場となるが、12haの陸域には木を植えることで小鳥類が来るようになり、育て方によっては十分餌場になる。また、木を植えることで昆虫類が来れば、それらを食べる陸域の鳥も来ると思う。予定地見学の際にも、草地部分にスズメがおり、それらを猛禽類のハイタカが追いかけていた。陸域も考え方によっては、餌場にすることができる。</p>
委員	<p>現在の事務局の人がいる間は、しっかりと野鳥公園ができていくと思われるが、将来的には、開発の圧力がかからないとも限らない。</p>

	<p>九州大学にも生物多様性保全ゾーンとして約10ha近くを残し、生態系に関係しそうな周辺の開発は、生態系の先生方に伺いながら進めている。</p> <p>市民の理解があって、その支えのもとで運営することが基本であり、また、容易に開発はできないと思うが、先々どうなるか分からない。そのため専門家による判断を必要とする場面が多々出てくるのではないかと。若干の改変時にも餌場が影響を受けたりすることがあると聞いているので、守っていくための仕組みを検討したほうが良いと思う。</p>
委員長	<p>餌場が影響を受けることに対して、守る手段を明確化しておいたほうが良いということである。</p>
事務局	<p>事務局の人がいなくなった後、どう担保するのか、今回の議論に一定の成果が出た後、数年後に工事が始まって、実際に出来上がるのは相当先であり、また段階的整備ということで、長期にわたって様子を見ながら進めていくことになるため、決めたことが徐々に変質化していくリスクについてどう担保するかということであるが、それはどう考えているか。</p>
	<p>相当長い期間の整備となるため、その過程で子供達に関わってもらおうと思っている。その中で、子供達も成長し、成人になり、壮年になる。その方々が環境学習や整備に関わっていくことで、自然を残していくという力にもなると思う。</p> <p>アイランドシティに住んでいる方々や働かれている方々に公園の成長に携わっていただくことで相当効果が得られると思っている。</p>
委員	<p>野鳥公園の計画は、このゾーニングにしたがってできると思うが、ガイドラインのようなものがあれば、それに従った維持・管理ができると思うので、ぜひ作っていただければと思う。</p>
委員長	<p>ほかに意見はないか。</p>
委員	<p>(意見なし)</p>
委員長	<p>今日の議論は、野鳥公園の位置づけ、整備の方向性、大まかなゾーニング、導入する機能イメージなど、こういう方向性だということで議論いただいた。事務局には、それを踏まえて次回の委員会に向けて整理してもらおう。</p>

事務局

2 その他

第3回開催日程について

今後の委員会については、当初、第3回の委員会において、整備内容の案を示すこととしていたが、エコパークゾーンと一体的に整備するという基本的な考えにおいて、予定地前面の海側・海の自然を学ぶゾーンに導入する機能と、周辺エコパークゾーンの豊かな自然環境が持つ機能との分担や連携などを十分に検討していく必要があることから、委員の皆様の特にご意見を頂きたいと考えている。

このため、次回の第3回委員会は、野鳥公園とともにエコパークゾーンで豊かな自然環境を保全創造していくための検討を進めるにあたって、和白海域における環境の現状や課題などについて示したいと考え、外部の専門家の出席を含めた委員会の開催を検討したい。

その後、春以降に、第4回の委員会において、これまでの議論のとりまとめをさせて頂きたい。

なお、次回開催については、日時と会場が決定次第ご連絡する。

閉会